

2017 年度

アメリカ留学報告書

実習先：セントラル・ミズーリ大学

実習期間：8月23日（水）～12月8日（金）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21016106
藤由菜乃花

目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修目的	3
4	研修内容	3
	4 - 1 研修のスケジュール	4
	4 - 2 研修の詳細	4
5	当初目的・目標への達成度	5
6	反省・課題	6
	謝辞	6

付録

	研修日誌	7
--	------	---

1 研修先及び実習期間

研修先：セントラル・ミズーリ大学

研修期間：平成 29 年 8 月 23 日（水）～平成 29 年 12 月 8 日（金）

※帰国は 12 月 9 日（土）

2 研修先概要

(1) 大学について

セントラルミズーリ大学は、ミズーリ州のウォレンズバーグ市に位置する。1871 年に設立され、現在は約 14,000 人の学生が在籍している。そのうち約 4,500 人が世界 50 カ国以上からの留学生である。パイロットなどを目指す航空学が有名で、大学の近くには航空基地がある。また、学内には映画館や劇場、スポーツジム、スタジアムといった様々な施設があり、学生は無料で映画やスポーツ観戦を楽しむこともできる。

(2) 大学で行われている教育について

セントラルミズーリ大学には、IEP(Intensive English Program)と呼ばれるプログラムがある。IEP は 9 つのレベルに分かれており、留学生は大学で学ぶために必要な英語力を少人数のクラスで身につけることができる。本学からの派遣留学生はこの IEP クラスを受講し、英語の読み、書き、文法、コミュニケーションスキルを学ぶ。また本学の留学生のための特別授業としてアメリカの歴史・文化、英語の発音、TOEIC 対策といった授業も受講する。留学中の成績は後に本学の単位として換算される。

3 研修目的

今回の研修における個人的な目的は、まず英会話力の向上である。留学中は、日本ではなかなか経験できない英語に囲まれた環境で生活する。英語を学ぶ上で最も重要なのは「話すこと」だと感じているため、積極的に、そしてネイティブスピーカーにより近い発音で話す力を身につけることを目的とした。二つ目に、TOEIC のスコアを上げることである。先ほど会話が重要であると記したが、就職の際に英語がどの程度できるのかということは TOEIC のスコアで評価されるのが現実である。今回の留学が終了するまでに、600 点を獲得することを目標にした。三つ目に、とにかくたくさんイベントに参加することである。セントラルミズーリ大学では、日々様々なイベントが開催されている。それらに参加することで、多くの人と出会い、日本でできないたくさんの体験をすることを目指した。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日 (曜日)	内容
8	23 (水)	到着
	24 (木)	オリエンテーション
	25 (金)	クラス分けテスト
	28 (月)	前期授業開始
9	10 (日)	野球観戦
	22 (日)	ジェファーソンシティ小旅行
10	3 (火)	期末テスト
	4 (水)	期末テスト
	9 (月)	後期授業開始
	14 (土)	ホームカミングパレード
11	11 (土)	フードショー
	16 (木)	IEP サンクスギビング
	17 (金) ~ 26 (日)	サンクスギビングブレイク
12	4 (月)	期末テスト
	5 (火)	期末テスト
	6 (水)	修了式
	7 (木)	TOEIC
	9 (土)	帰国

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i)オリエンテーション

英語について学ぶ授業であった。授業の中で数回のプレゼンを実施し、それによって英語を話す力を聴く力をトレーニングすることが主な内容であった。その他に、単語の学習を自主的に行う課題が出された。

ii)野球観戦

大学からバスで1時間ほどのところにあるカンザスシティのスタジアムで野球観戦をした。この観戦は本学の留学プログラムに含まれていたため、メジャーリーグの試合を無料で見る事ができた。

iii)ジェファーソンシティ小旅行

アメリカ文化の授業の一環でミズーリ州の州都であるジェファーソンシティに行った。記念館や博物館では、ジェファーソンシティやミズーリ州の歴史について学んだ。昼食は、先生と学生と一緒にサンドイッチを作って食べた。

iv)ホームカミングパレード

セントラルミズーリ大学に在籍する留学生が、それぞれの国の国旗を掲げたり伝統衣装を身につけたりしてウォレンズバーグの街を歩くパレードに参加した。本学からの留学生は、浴衣や甚平を着て日本のアピールをした。

vi)IEP サンクスギビング

IEP クラスの先生方が、学生のためにアメリカの伝統料理を準備してパーティーを開いてくださった。サンクスギビングにアメリカの家庭でよく食べられるターキー、マッシュポテト、パンプキンパイなどを楽しんだ。

vii)サンクスギビングブレイク

アメリカの感謝祭で、日本でいう正月やお盆に当たる。アメリカ人の学生は実家に帰り、家族や親戚と過ごすことが多い。本学からの留学生にはホームステイの機会が用意されていたため、それぞれが旅行に行ったり自分でホームステイできる家庭を見つけてお世話になったりして過ごした。

viii)修了式

学期終わりの修了式で、一人一人に修了証が授与された。IEP クラスと一緒に英語を勉強してきた世界中の仲間と写真を撮って別れを惜しんだ。

5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i)英会話力の向上

アメリカ留学中でも、本学からの留学生や現地の日本人学生など周りに日本語が話せる人が多かった。そのため日本語を話せる環境ができており、その安心感に甘えてしまった部分があった。とはいえ、アメリカ人のルームメイトを探したり、英語を話せる場へ積極的に足を運んだり自分なりに英語を話せる環境を作っていたことで、英会話力は格段に向上した自信がある。

ii)TOEIC のスコアを上げること

留学の最終日に全員で受験した TOEIC の結果は、今までの最高得点を 100 点以上上回っていたため目標を達成したと言える。しかし問題を解いていて時間が足りないと感じたため、もっと英語を早く読み、理解する力をつける必要があると感じた。

iii)たくさんのイベントに参加すること

大学で行われるイベントや友人に誘われたキャンプなど、様々なイベントに参加することができた。その中でたくさんの人との出会いや異文化に触れる場面があり、視野を広げることができた。また、日本文化を伝えるためのワークショップを作り披露することもできた。アメリカでワークショップを行うという大変貴重な体験ができた。

6 反省・課題

今年の本学からの留学生は比較的シャイな学生が多く、授業での発言や行動力にやや欠けていたという印象を受けた。先に述べたように、アメリカにいても日本人が多いという状況であったためホームステイの機会があるとより有効な留学期間になると感じた。留学先で日本人とどのように関わっていくかが重要な課題である。また個人的な課題としては、今後も英語を話せる環境を絶やさないことや、英語関係の資格取得に挑戦することなどが挙げられる。

謝辞

今回の派遣留学において協力いただいた全ての皆様に心から感謝いたします。そして、本学から給付していただいた奨学金のおかげで一生の思い出に残る大変貴重な経験ができたことに深く感謝申し上げます。

付録：研修日誌

8月22日（火）～8月23日（水）
初日 新潟駅出発からセントラルミズーリ大学到着まで
内容 <ul style="list-style-type: none">・ 新潟駅から貸切バスで成田空港周辺ホテルへ。・ 成田空港周辺ホテルに前泊。・ 翌朝、成田空港から国際線でダラス空港へ。・ ダラス空港から国内線でカンザス空港へ。・ カンザス空港から大学バスでセントラルミズーリ大学学生寮へ。

移動の所感

初日は移動時間が長く、一部の学生は時差ボケに苦しんだ。これから3ヶ月半の間お世話になる大学に到着し期待が膨らむ一方、新しい環境へのストレスや緊張感で疲労も感じた。

8月24日（木）
オリエンテーション
内容 <ul style="list-style-type: none">・ 学生証の作成・ 予防接種・採血・ Wi-Fi 接続・ 大学散策

オリエンテーションの内容

本学学生は一人一人写真撮影をして学生証を作成したり、予防接種や採血をしてもらったり、Wi-Fi 接続を行ったりした。昼食は大学内のダイニングホールで食べた。本学学生はミールプランに加入しており、ここで毎食無料の食事をとることができる。

9月23日（土）
カンザスシティ観光
内容 <ul style="list-style-type: none">・ 美術館や個展の見学・ ショッピング

カンザスシティ観光の具体的内容

ISO(International Students Organization)という留学生団体の旅行でカンザスシティに行った。カンザスシティは、大学からバスで1時間程度のところにある都市で、プラザというところにはたくさんのお店が立ち並ぶ。参加学生はまず無料の美術館や周辺で開催していた個展を見て回った。その後、プラザに移動してショッピングを楽しんだ。

10月8日(日)
ミュージカル観劇
内容 ・ Footloose ミュージカル観劇

ミュージカル観劇の内容および所感

大学内の劇場で、ミュージカルを観劇した。作品は Footloose で、セントラルミズーリ大学に学生によって演じられた。大学生とは思えない演技力と歌唱力に圧倒された。

11月11日(土)
フードショー
内容 ・ 準備(日本食の調理) ・ フードショー

フードショーの具体的内容および所感

セントラルミズーリ大学の留学生が、それぞれの国の料理を作って振る舞うイベントである。参加学生は焼きおにぎり、お好み焼き、照焼きチキン、卵焼き、漬物などの日本料理を前日から作り始めた。フードショーでは各国のブースで料理を提供するのだが、日本のブースは大人気で終始列が途切れなかった。本学学生は、日本食はもちろん韓国、パキスタン、サウジアラビアなど、たくさんの国の料理を楽しんだ。







